

# 字心磨く

中日文化センター訪問

栄中日文化センターの門下に入った。同セ  
の人氣講座「講談塾」の講師は二〇〇  
入門編」の講師の講談 八(平成二十)年十月  
師、神田京子さんは今 から務める。

春、真打ちに昇進し 講座では「古典のい  
た。「講座は今まで通 い所を抜粋した二、三  
り、皆さんに講談を好 きになってもらえるよ  
う一生懸命務めます」 と笑顔で話す。

## 講談独特の七五調を 楽しもうがモットー

岐阜県美濃市出身の 分の話」を毎回用意。 う」がモットーで、受  
京子さん。二十二歳の まず京子さんがやって 講者は大きな声を出  
時に二代目神田山陽に から、受講者が一人一 し、張り扇で釈台をパ  
入門し、山陽が亡くな 人で挑戦する。「講談 ンパンたたいてストレ  
った後、神田陽子さん 独特の七五調を楽しも スを発散し、いい気持



真打ちに昇進した神田京子さん(左)と師匠の神田陽子さん(右)＝名古屋市中区の栄中日文化センターで

山陽師匠が、あらん限  
りの力で京子を教え、  
京子もその精神を受け  
継いだと思います」と  
話す。  
京子さんは「手っ取  
り早く笑うのが、はや  
りですが、いろいろな  
感情を包括しているの  
が講談のパワーです」  
と魅力を語る。

ちになる。  
「歴史ものなど、も  
っと長い話も習いた  
い」と受講者からの要  
望も強くなり、京子さ  
んが師匠の陽子さんに  
講師を頼んで、「応用  
編」も始まった。  
陽子さんは「晩年の  
入門編は第三水曜午  
前十一時からで、六カ  
月分一万五千元(税  
別)。新入会は入会金  
三千五百円(同)が別  
途必要。申し込みは同  
センターフリーダイ  
ヤル(0120)53  
8164へ。